



平成29年3月10日

各 位

上場会社名 スターティア株式会社
 代表者 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷秀之
 (コード番号 3393)
 問合せ先責任者 執行役員 管理部長 植松崇夫
 (TEL 03-5339-2162)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年11月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,639	418	418	338	33.15
今回修正予想(B)	10,180	200	232	286	28.31
増減額(B-A)	△459	△218	△186	△52	
増減率(%)	△4.3	△52.2	△44.5	△15.4	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	10,171	503	544	253	24.82

(注)当社は、平成27年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割をしております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

売上高につきましては、当初、組織・営業体制の変更や営業手法の変更など、中長期的な企業価値向上に向けた営業戦略転換コスト等の影響により10,860百万円(前期比6.8%増)となることを見込んでおりました。しかしながら、第1四半期連結会計期間において、販売ターゲット層の変更に伴うため営業体制を変更したことに伴う拡販体制整備の遅れにより、デジタルマーケティング関連事業における「Actibook(アクティブック)」と「Actibook AR COCOAR(アクティブックエアー ルココアル)」のパッケージ販売が低迷いたしました。

その一方で、AR(拡張現実)を利用したスマートフォンアプリが人気を博して以降、ARが販売促進に利用できる、という一般企業の期待が高まったことにより「Actibook AR COCOAR」に対する問い合わせが増加し、第3四半期連結会計期間にはパッケージ販売が回復を見せ始めましたが、当社グループの業績が偏重する第4四半期連結会計期間の計画達成までの復調には至りませんでした。

また、ITインフラ関連事業におけるカスタマー1st構築のため、ストック収益獲得に傾注したことによって第4四半期連結会計期間のフロー収益計画が未達となった影響により、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

営業利益および経常利益につきましては、足元の状況を踏まえ、全社を挙げてコスト削減や業務効率化を図ってまいりましたが、売上目標を達成できなかったことが大きく影響し、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益として当社持分法適用関連会社であるクロスチェックの第三者割当増資の実施による持分変動利益の計上等がありました。売上目標の未達をカバーするまでには至らず、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上